

Save The Tropical Forests



森の通信

2003.10.7



▲ フーフーのホーンビル(サイキョウ) photo 西岡良天

- フーフー・フーナン人逮捕さる! 3P
- インドネシア材密輸続く 5P
- ラミン材ほうき自治体アンケート結果報告 7P
- 「ボルネオ島に行く」③ 12P
- 世界の森林ニュース 14P



Maido! 「アマジンの植林支援」 永田健一



[向合せ、寄付]

熱帯森林保護

団体

Tel.03-3290

-2482

まで

・'89年からアマゾンへの支援を行っている東京の「熱帯森林保護団体RFJ」代表 南石研子さんからHELPが届いた。数年前からパラ州、マトグロッソ州の支援地域で野生するマホガニーや、ババサヤンが不法侵入者によって乱伐されているとのこと。マホガニーは高級家具としてババサヤンはアロマテラピーに使うオイルとして重宝されている。どちらも先進国向けです。南さんたちはここにもう一度マホガニーなどの植林支援を行ってあげられます。今でもらっていた助成金(環境事業団)がカットされ寄付金を叩きつけています!ご協力を!



《ウータン活動報告》

2003・6・17 通信『ウータン68号』発送。

- 6・22~23 森林NGO全国戦略会議・名古屋。JATAN、JATAN名古屋、ウータン、ラミン調査会、FOEジャパン、サラワク・キャンペーン委員会など、参加*西岡、井下、佐久間、ラミン調査会・奥村。
近々日本・インドネシア違法伐採対策に覚書調印の可能性ありとNGOで問題点列挙し、要望を作成。他、①違法伐採対策、②自治体の選挙権問題や原生林材使用への問題点、③マレーシア、日本等のラベリング問題、④インドネシアの原生林皆伐のAPP、エイプリル社コピー生産・流通問題など、現況と今後について討論。
- 6・24 インドネシアのメガワティ大統領、プラコサ林業大臣が来日し、「日本・インドネシア違法伐採対策協力共同発表・行動計画」表明。JATANなど14団体で同行動計画へ意見書提出。
- 7・1~7 インドネシア材、マレーシア・サラワク州へいまだに密輸か?の調査。同調査でマレーシア・サラワク州でも違法伐採横行と先住民NGOが資料提供*西岡
- 7・12、13 第11回「枝打族」開催。丹波大山の地元で5年前より広葉樹の植樹を広げ、複層林化への方向本格化。今年も落葉広葉樹、常緑針葉樹の手入れの枝打ち。参加*荒木
- 7・31 ウータン、ラミン調査会のアンケート「貴重樹種ラミン材のほうき・モップ使用の変更について」をまとめる。回答率67%。
- 8・11 ウータン、ラミン調査会のアンケート「貴重樹種ラミン材のほうき・モップ使用の変更について」集計・評価を記者会見。ラミン材を使用していた全国の主な都市、および大阪府下全市の自治体で、広島市教育委員会を除き、ほとんどが別の材へ【転換】か【検討】と回答有り。
- 8・11 ウータン、ラミン調査会、大阪府教育委員会財務課へ「貴重樹種ラミン材のほうき・モップ使用の変更について」の文書で、本年度からラミン材を取り扱わないよう申し入れる。

*本誌は再生紙を使用しています。

【表紙】新草木染・ハーブ(64.5kg、古紙40%)

【中紙】バガス(35kg、非木材紙50%、古紙35%)

8月、マレーシア・サラワク州で道路封鎖、ブナン人逮捕さる！

2003年8月9日、ミリからインドネシア国境へと流れるバラム川中流域で、ブナン人はブロックードを設置しました。その後の報告で狩猟採取の民・ブナン人が逮捕されました。このケースは、常時携帯していたナタや吹き矢を持って伐採企業との話し合いに参加したという理由で、2人が逮捕されたのです。

Kさんから続報が入り、「現在、伐採道路の封鎖は行われていない。伐採企業のボスが、ブナン人に残っている土地を与えることで合意したためだ。今回も、ブナン人が道路封鎖を解除すると、何人かの協力を得て、その伐採企業は抗争地へまた進入・伐採を始めた」と。連絡を受けたJさんも、友人の弁護士ハリソン・ガウ氏に連絡を取り、逮捕を伝えた。彼は、「我々の友人および全ての関係者に情報を流すよう」に依頼した。9月13日に釈放の連絡が入りました。しかし、「今後また逮捕があるかもしれない」と。

なぜ、ブナン人は、こんなに何度もブロックードを続けているのでしょうか？ 彼らは、逮捕される危険性を承知の上です。時には自分の命さえ顧みずに、先祖代々の土地を守ろうとします。サラワクの伐採問題はまだまだ終わっていません。森林伐採と人権侵害が続いています。

「我々は今後何かあった場合、その時すぐ何か行動を起こすつもりである。生活を破壊されたブナン人、彼らは私の支援を求めているから。」

K



（今年8月の場所とは異なりまゝ。）
バラム川上流でのブナン人のブロックード

ブナン人逮捕の件も含め、『森の救援基金』にご協力を

2001年、多くのブナン人たちが集まり、『ロングサヤン宣言』が発せられました。今後の森林破壊等に対し、私たちウータンは『森の救援基金』を行っています。今回の逮捕も、弁護士費用等に救援金が必要です。逮捕等の支援金の寄付は「ブナン人カンパ」とお書きください。

『ウータン・森の救援基金』へカンパのお願い!

「森の救援基金」は、1999年4月からです。当初ウータンで行っていた『ブナン基金』の残額17万円ほどを引き継ぎ、97年の森林火災や、ブナン人だけでなくサラワク州で商業伐採の被害拡大や、森林問題・人権問題を訴える先住民を招くため、一部のブナン人用に使うのではないため名称を変え、事務局で120万円拠出し、137万円です。1997年

最近、支援の必要度が増し、2000年は初めてブナン人の村々に人権擁護委員会メンバーを招くためなどに17万円ほど支援し、2001年はサラワク先住民の大阪招聘のために、2002年はアンディ・ムタン氏全国ツアーや、ブナン人の奥地の病院設立金へ15万円を出しました。今年もブナン人裁判支援へ3万円を渡し、現在『基金』は85万円に減っています。

今後の森林破壊を防ぐため、また被害にあっている人々のためにも、『森の救援基金』に是非ぜひカンパ・寄付をお願いいたします。

『ウータン・森の救援基金』の目的など

| | |
|--|---|
| 1、『救援基金』使用目的・支出について (1)①熱帯林や北方林など原生林が大規模に破壊され死者等を出すか、②その被害が甚大な場合、③大飢饉が起きている時、④先住民が人権抑圧にあり、現地NGOが支援を求めている場合か、⑤その他国内の森林保護団体が支援金を求める場合。 (2) (1)の目的達成のため現地へ行く場合。 (3) (1)の状況へ陥った先住民や関連NGOを日本に招く場合。 (4)他ウータン事務局が必要と認めた場合。 | 2、『救援基金』の寄付等について (1)会員のほか多くの人に呼びかける。 (2)寄付等は1口2千円とし、上限を問わない。 3、『救援基金』の管理・運営について (1)基金の寄付の国内送金は郵便振替で行い、口座をウータン事務局が管理する。 (2)海外への送金額はウータン事務局で随時協議して決め、収支を『通信ウータン』次年度号に報告する。 というものです。 |
|--|---|

★今年12月、ブナン人奥地の村に初の病院完成予定——ぜひカンパを★★

マレーシア・サラワク州のインドネシア国境に近いKクロン村に、初めて奥地のクリニック(簡易診療所)が出来ます。このクリニックはその村人だけでなく、近隣の先住民ブナン人、カヤン人などの村人や、移動ブナン人の大怪我のケアなどを行うためにも作られます。

そこは、原生林が広大に残された素晴らしいところです。このクリニックでは村人が使う薬草(千種類以上ある)を中心にして、漢方薬、西洋医薬の一部もおく予定です。しかし、村人や現地NGOは資金が少なく、今年12月は建築物だけの見込みです。今後いろんな備品やソフトウェアが必要です。寄付等お願いします。今回、病院へ寄付は、「病院カンパ」とお書きください。
(西岡良夫)

インドネシア材、密輸続く!

【6・24「日インドネシア違法伐採・違法貿易対策共同声明・対策行動計画」後も】

by 西岡良夫

違法材調査の場所は、サラワク州都クチンからバスで約3時間のセマタン(Sematan)だ。

2003年1月7日、バスで見るとクチン市から、グアン・ガデンNational Parkまで小さい山しかない。その間は製材所もなく、セマタン村の手前に1つ見つけた。セマタンについてから村を歩き回る。

木材が一杯積んでる1つの木材所があった。ちょうど小船から木材をクレーンで下していた。

そのHARWOOD社のマネージャーに聞く。

「どこから一杯木材が運ばれてきたのですか。」

～「インドネシアからの製材品だ。」

「すべてインドネシア材ですか。」

～「All timbers come from Indonesia.」

「どこの港から運ばれてきているんですか。」

～「主にポンティアナックで、あちこちからだ。」

「あの白いラベルは何ですか。」

～「あれはマーキングだ。」

「マーキングを見に行っていないですか。あの木の上段、中段、下段の記載を教えてください。」

～「上段は会社名。あそこにCHとの記載はKim Hong(キーホック)という会社だ。中段は品目だ。下は運んだ期日だ。」

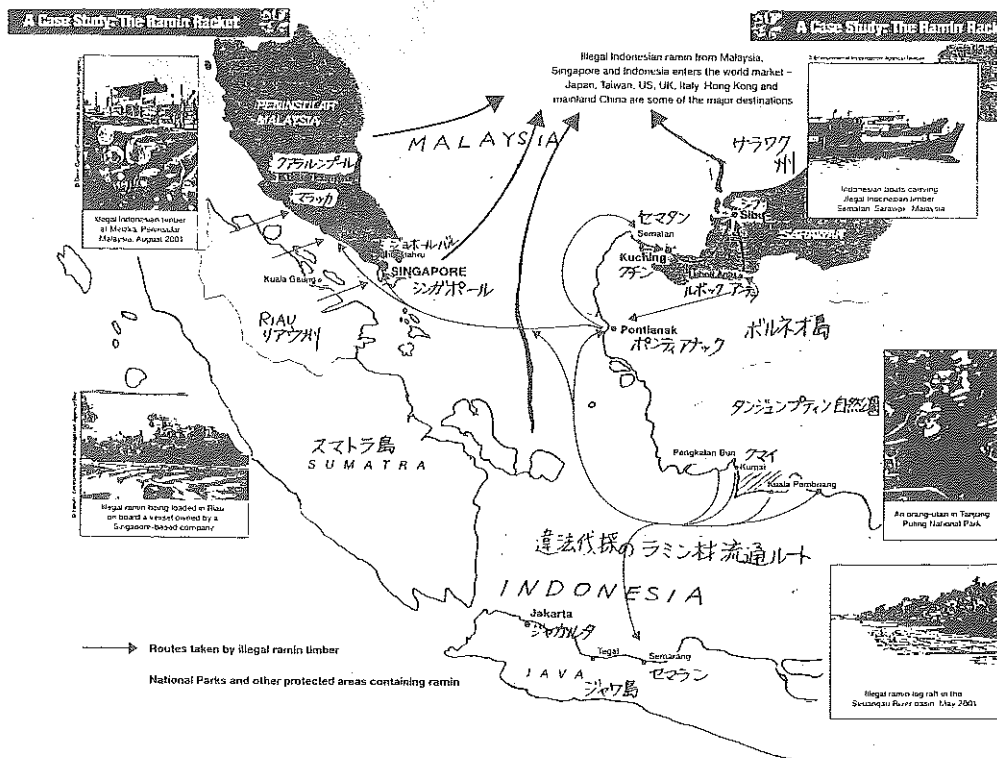
「キーホックは、大きな会社ですか。」

～「そうだ。華僑の巨大な会社だ。この主な取引の会社だ。このハーウッド(HARWOOD)社も大きく、労働者は各村から働きに来る。」

「インドネシアから毎日運ばれてくるのですか。」

～「そうだ。毎日インドネシアから何隻もやってくる。ラワンやいろいろだ。その日により異なる。」

Kim Hong 以外にもいろんな会社が記されていた。その日はヤバイのでそれ以上聞けなかった。今も、密輸の製材品が船から降ろされていた。



【闇夜も、朝も運ばれるインドネシア材】

次の日の朝、遠くに巨大な船が沖合いに停泊していた。ITTOの『Tropical Forest 12号』P13の写真の船と同じようだ。聞けば、インドネシアから小船などで違法材を運び、沖合いのバージ船のようなものに積み上げ、今度はマレーシア側から沖合いに船を出し、運んでくるのだ。

1月8日、午後8時、闇夜をついて船が来る。大きな船3隻がまず、HARWOOD社の港へ。続いて8時半以降に小船も次々と材木を積んで、セマタンへ戻ってきた。

翌朝、HARWOODからトラックがクチンのほうへと運び出していた。

6月24日、インドネシア・メガワティ大統領、ブラコサ林業大臣が来日し、『日インドネシア違法伐採対策協力「共同声明」・アクションプラン』署名式が行われた。

私は7月1日、セマタンへ朝早くタクシーで行く。セマタンへ行く途中、何台もの製材品を積んだトラックを見る。HARWOOD社や関連会社からだ。

午前8時半、セマタンに着くや船を見かけない。タクシー運転手に村人へ状況を聞いてもらう。

「今朝は来なかったよ。昨日の晩にいつもどおりポンティアナックからいっぱい船がきたよ。船から荷を全て降ろしたので、午前の仕事は終わったよ」とのことだった。

HARWOODを廻り、関連の下請会社へ行く。またも運転手に労働者のヒアリングを依頼する。

「全てインドネシア材だよ。マレーシアから材木を売れば、インドネシアより高く売れるからだ。レッド・メランティやホホワイト・メランティが主流だ。ラミン材はこのごろ見かけない。見たのは半年ぐらい前かなあ、定かでないよ」と。

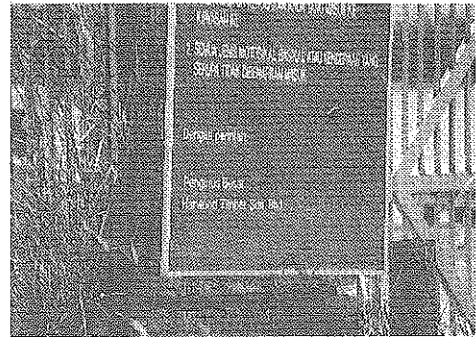
HARWOODはクチン、シブ、サリケイ(Sarikei)にもあり、本社はピンツルの大きな会社。

密輸は続いている。

クチンに戻り、サリケイ、シブへ行く。

大半が事務所だ。サリケイで政府の林業関係者に偶然会った。彼は言う。

「ログ・ポンドは大半がタンジュン・マニスだ。ここでチェックして、輸出している。」



セマトンのハーウッド社の看板



ハーウッド社からトラックで運んでいる。



インドネシア材を小船で密輸

(2003年1月撮影)

HARWOOD

Projek Penyeidikan Ketan Bakan

Jabatan Pertaman Sarawak Sematan

(Tel & Fax) 082-711356

[注] EIAとインドネシアNGOのTelapakが報告している『Timber Trafficking』では、オランウータンが生息するインドネシアのタンジュン・プティン国立公園などからラミン材などをポンティアナックへ運ぶ。ポンティアナック港から違法な製材品をセマタンへも運んでいる、と記載している。

アンケート「貴重樹種ラミン材のほうきやモップ使用の変更について」

の結果についての評価

2003年8月11日

4月22日付けで発送したアンケート「貴重樹種ラミン材のほうき・モップの使用状況について」、7月15日以降、各自治体より回答が無いので7月末で締め切り、8月1日で集計しました。

回答率は67%で、私たちが望んでいた7割回答を少し下回りましたが、特徴的な点がありました。

- 1、大阪府下全市から回答のあった中で4割以上の自治体がラミン材のほうき・モップを使用しています。それは大手流通メーカーが大阪にあることが大きな要因と考えられます。
- 2、ラミン材のほうき・モップを使用していると回答のあった大阪府下の自治体は、今後「転換する」「検討する」という回答が100%となり、今後の問題として望ましい結果になったといえます。しかしながら「検討する」という自治体はどのような検討か今後調べていく必要があると考えます。また回答のなかった府下の自治体に対しては、今後問い合わせ及び話し合いをする必要があると考えています。
- 3、全国主要都市へのアンケート回答率は7割を超えましたが、ラミン材を使用していないと明示できる自治体は、大阪以外の地域で全体の1割弱でした。また、ラミン材かどうか把握していない自治体は大阪府下より多く、「把握無し」が3割を超え、「委託業者がしているのが7%あり、約4割が「ラミン材のほうき・モップを使用しているかどうか知らない」という関心の低い結果でした。
- 4、なお大阪府下以外でラミン材のほうき・モップを使用していると回答したのは、たったの4自治体でしたが、「ラミン材を転換してもらえるか」の問いに広島市教育委員会を除き、全て、「転換」「検討」という結果は望ましいものです。
- 5、ラミン材を知らない担当者が大半でありましたが、今回の質問依頼によって、違法材であるインドネシア産ラミン材について認識していただく機会とすることができました。
- 6、各自治体の教育委員会からの回答によれば、各小中学校の独自判断で購入も多く、各教育委員会で今後把握していただき、ラミン材を転換するイニシアチブをとってほしいと考えます。
- 7、すでに羽曳野市の小中学校では、私たちの依頼を受けて「ほうきはラミン材ほうきより竹製ほうきが安価で環境のためにも優れ、教育的効果がある」と変更していただいた学校もあります。モップはラミン材モップよりスチール製モップのほうが安価であり、貴重樹種ラミン材よりスチール製に転換していただきたいと考えます。
- 8、私たちは大阪府教育委員会に、「ラミン材のほうきやモップの棒を、代替材にしてください」とお願いし、ラミン材のほうきやモップの使用等のアンケートを、大阪府下の高校及び各学校施設等に依頼していただき、次にラミン材を安価で環境に優しい竹製のほうきなどに転換するよう、各学校、施設に促していただきたく依頼したところです。

また、大阪府内部でも発注の際までに、まず貴重樹種であるラミン材のほうきやモップの使用しないようにご検討をしていただくようお願いいたします。

今後、私たちはラミン材を使用しないよう大阪府に働きかけていきたい。府教育委員会に、変更のための綿密な調査の実施とラミン材転向を求める働きかけを行おうというものです。

2003年8月11日

ウータン・森と生活を考える会 事務局長・西岡良夫
ラミン調査会 代表・奥村知亜子

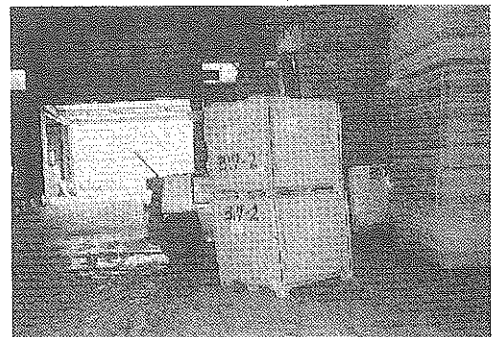
貴重樹種ラミン材のほうきやモップ使用の状況について（質問）

- 貴自治体では、ほうき・モップの今年度の新規発注を検討しておられますか。
 - ほうきの新規発注の予定あり——製造企業名（ ）
 - モップの新規発注の予定あり——製造企業名（ ）
 - ほうき・モップとも新規発注予定あり——製造企業名（ ）
 - ほうき・モップとも発注の予定なし
 - ほうきを必要に応じて発注の予定
 - モップを必要に応じて発注の予定
- 清掃用具取扱い業者のヒアリングで、丸棒仕様のほうきやモップにラミン材が使用されているという報告があります。貴自治体は昨年度ラミンのほうきやモップを購入されていますか。
 - 両方購入した——製造企業名（ ）（ ）
 - 購入していない
 - 外のものを購入した（竹・スチール・プラスチック・その他）
 - 昨年どちらか一方を買った（ほうき・モップ）——製造企業名（ ）
- ほうきに関して、貴自治体はラミン材の丸棒を使用したほうきから竹材ほうき等に転換していただくことができますか。
 - 転換するつもりである
 - 転換するつもりはない
 - 検討したい
 - 以前からラミン材を購入していない
 - その他（ ）
- モップに関して、貴自治体はラミン材の使用からスチール製等に転換していただくことができますか。
 - 転換するつもりである
 - 転換するつもりはない
 - 検討したい
 - 以前からラミン材を購入していない
 - その他（ ）

熱帯貴重樹使用
大阪など13市で
環境団体、清掃員調査
オランウータンのすむ
熱帯林地域に生える貴重
樹種のラミン材が、少な
くとも全国の13自治体で
清掃用具に使われている
ことが11日、環境保護団
体「ウータン・森と生活
を考える会」（大阪市北
区）と「ラミン調査会」
（同）の調査で分かった。
県庁所在地など主要51
都市と大阪府内の全市を
対象にアンケート調査を
行った。回答率は主要都

市では71%、大阪府内では63%。回答があった自治体のうち、市長部局か教育委員会が昨年度にラミン材のほうきやモップを購入したのは主要都市では広島市、鳥取市、大阪市など5都市、大阪府内では大阪市を除く8市。これら自治体の多くは別の材料へ「転換」か「転換を検討」を答えた。団体は「ラミンの輸出許可を受けている業者は極めて限定され、密輸材の疑いもある。竹や鉄製に転換を」と話している。
【大島秀利】

シンガポールからラミン丸棒が岸和田港
▼（大阪）についている。



【アンケート】貴重樹種ラミン材のほうき・モップ使用状況・大阪府の市一覧表

(最終集計/2003・8・1)

| 自治体名 | 1 ほうき・モップの 新規発注有無 | 2 昨年度ラミン材 ほうきモップ購入 | 3 ラミン材ほうき の転換可能? | 4 ラミン材モップ の転換可能? |
|--|--|---|--|-------------------------------|
| 豊中市収入役 | 両方(宇野箒、山崎) | モップ(山崎産業) | 無購入 | 転換 |
| 箕面市教育委 | 必要時発注 | ラミン両方 37% | 検討(89%) | 検討(89%) |
| 吹田市契約室 | 必要時発注 | 両方購入(山崎産業) | 無購入(?) | 無購入(?) |
| 吹田市教育総 | 必要時発注 | 両方購入(山崎産業) | 検討 | 検討 |
| 茨木市環境保 | 必要時発注 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 茨木市契約課 | 必要時発注 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 高槻市教育委 | 必要時発注 | 他購入(竹・プラス) | 無購入 | 無購入 |
| 摂津市教育総 | 必要時発注 | 他購入 | 無購入 | 無購入 |
| 摂津市防災課 | 委託業者清掃で | 委託業者清掃で | 把握無 | 把握無 |
| 泉大津市教育 | 必要時発注 | モップ(会社名不明) | 検討(単価等も) | 検討(単価等も) |
| 堺市教育・調達 | 両方発注 | 箒(山崎産業) | 転換 | 無購入 |
| 岸和田市教育 | 必要時発注 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 泉佐野市施設 | 両方発注 | 他購入(竹・スチール) | 検討 | 検討 |
| 阪南市学校教 | 必要時発注 | モップ(山崎産業) | 検討 | 検討 |
| 高石市教育委 | 必要時発注 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 四条畷市教育 | 必要時発注 | 両方有(会社名不明) | 検討(各校に指導) | 検討(各校に指導) |
| 交野市総務課 | 必要時発注 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 交野市教育総 | 必要時発注 | 他購入(竹・スチール) | 無購入 | 無購入 |
| 東大阪市教育 | 必要時発注 | 他購入(竹・木製) | 検討 | 検討 |
| | | 箒購入——ささら箒(竹・坂口商店)、自在箒(木製・テラモト)、竹ぼうき(タイ製) | | |
| 守口市教育委 | 必要時発注 | 購入無(ほうき・竹 モップ—プラスチック) | 無購入 | 無購入 |
| 羽曳野市教育 | 把握無(各校裁量) | 把握無(各校裁量で) | 検討 | 検討 |
| 柏原市契約検 | 委託業者清掃 | 購入無 | 把握無し | 把握無し |
| 河内長野契約 | 必要時発注 | 他購入 | 無購入 | 無購入 |
| 藤井寺市教育 | 箒(カブト)1 なし3 必要時 14 | 無5 他購入4、ラミン 箒—テラモト、松尾等 | 転換5、検討6 無購入3 | 転換6、検討4 無購入4 |
| 合計 20/32 (回答率 62.5% 回答数 24) ラミン使用 8 | 箒0、モップ0 両方発注2、無1 委託2、把握無1 必要時 18(75%) | 箒2、モップ3 両方購入4 他購入8 無購入4 委託2 把握無1 | 転換1、変えず0 検討9、無購入11 把握無3 (使用自治体は転換10%、検討90%) | 転換2、変えず0 検討8 無購入11 把握無3 |

【アンケート】貴重樹種ラミン材のほうき・モップ使用状況・全国主な都市一覧

| 自治体名 | 1ほうき・モップの 今年新規発注有無 (注:メーカー等) | 2昨年度ラミン材 ほうきモップ購入 (注:メーカー等) | 3ラミン材ほうき の転換可能? (注:備考) | 4ラミン材モップ の転換可能? (注:備考) |
|--------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 札幌市教育委 | 把握無(各学校で) | 把握無(各学校で) | 把握無し | 把握無し |
| 盛岡市教育委 | 両方発注無 | 購入無し | 無購入 | 無購入 |
| 山形市教育委 | 両方発注無 | 購入無し | 無購入 | 無購入 |
| 仙台市教育局 | 必要時発注 | どちらか購入 | 検討 | 無購入 |
| 仙台環境管理 | 委託業者清掃で | 委託業者清掃 | 把握無 | 把握無 |
| いわき市環境 | 必要時発注 | どちらか購入 | 検討 | 検討 |
| 水戸市体育課 | モップ発注(ミズノ) | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 前橋市契約課 | 必要時発注 | 他購入(スチール) | 無購入 | 無購入 |
| 埼玉市教育委 | 把握無(各学校購入) | 把握無(各学校購入) | 把握無 | 把握無 |
| 東京都環境局 | 両方発注無 | 把握無 | *把握無(建設リサイクルガイドラインで) | |
| 川崎市学事課 | 必要時発注 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 川崎市環境局 | 委託業者清掃で | 委託業者清掃で | 把握無 | 把握無 |
| 横浜市環境保 | 把握無(各課で) | 把握無 | 把握無 | 把握無 |
| 甲府市教育委 | 両方発注無 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 長野市環境部 (集計時計算*) | 第16モップ2両方2 発注無60必要時21* | 他を購入30 購入無60(66.7%)* | 無購入 | 無購入 |
| 富山市契約課 | 必要時発注 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 金沢市環境保 | 必要時発注 | 把握無 | 検討 | 検討 |
| 静岡市環境政 | 委託業者清掃で | 委託業者清掃で | 把握無 | 把握無 |
| 静岡市教育施 | 必要時発注 | 把握無 | 検討 | 検討 |
| 岡崎市教育委 | 両方発注(一括) | 把握無 | 検討 | 検討 |
| 岡崎契約課等 | 把握無 | 把握無 | 検討 | 検討 |
| 名古屋市環境 | 把握無 | 把握無 | *把握無(グリーン購入ガイドラインで) | |
| 岐阜市管財室 | 両方発注無 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 大津市ISO | 両方発注無 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 京都市教育委 | 両方発注無 | 購入無 | 無購入 | 無購入 |
| 神戸市教育委 | 把握無(各学校購入) | 把握無(各学校購入) | 把握無 | 把握無 |
| 鳥取市教育委 | 必要時発注 | 常購入(山崎産業) | 検討 | 検討(スチール安価) |
| 広島市教育委 | 必要時発注 | 両方購入(内容不明) | 転換無理 | 転換無理 |
| 広島市環境政 | 把握無(各課購入) | 把握無 | 転換(予算範囲で) | 転換(予算でスチール) |

↓ 次ページへつづく。

全国 No.2

| 自治体名 | 1 ほうき・モップの 今年新規発注有無 (注:メーカー等) | 2 昨年度ラミン材 ほうきモップ購入 (注:メーカー等) | 3 ラミン材ほうき の転換可能? (注:備考) | 4 ラミン材モップ の転換可能? (注:備考) |
|--|--|---|--|---|
| 山口市教育総 | 必要時(竹・鉄製) | 購入無し | 無購入 | 無購入 |
| 松山市管財課 | 必要時発注 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 高松市管財課 | 両方購入(高島金物他) | 他購入(竹製) | 無購入 | 無購入 |
| 高知市環境保 | 必要時発注 | 把握無し | 検討(指導する) | 検討 |
| 徳島市管財課 | 必要時発注 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 徳島市教育委 | 必要時発注 | 他を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 福岡市環境保 | 両方発注無し | 購入無し | 無購入 | 無購入 |
| 福岡市教育委 | 把握無(各学校で) | 把握無(各学校で) | 把握無 | 把握無 |
| 佐賀市教育委 | 必要時発注 | 他購入(竹等) | 無購入 | 無購入 |
| 熊本市調達課 | 両方発注無し | 購入無し | 無購入 | 無購入 |
| 熊本市教育委 | 必要時発注 | 他(竹・鉄等)購入 | 無購入 | 無購入 |
| 長崎市環境総 | 必要時発注 | 他(竹)を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 長崎市教育委 | 必要時発注 | 他(竹)を購入 | 無購入 | 無購入 |
| 鹿児島市教育 | 把握無(各学校で) | 把握無(各学校で) | 検討 | 検討 |
| 那覇市管財課 | 必要時発注 | 他を購入 (竹・プラスチック) | 無購入 | 無購入 |
| 大阪市環境部 (集計時計算は *) | 両方購入 1 必要時 14* 発注無 37 | 無購入 39 他購入(プラスチック)7 モップ 1*(テラモト) | 転換 10*, 検討 9 無購入 23(48%) 他購入 6(13%) | 転換 9 検討 10* 無購入 20(43%) 他購入 8(17%) |
| 全国分 合計(36/51) 自治体回答率 (70.5%) 計回答数 45 | ほうき発注 0, モップ発注 1(2%) 両方発注有 2(4%) 両方発注無 9(20%) 必要時発注 21(47%) 委託業者で 3(7%) 把握無 9(20%) *長野、大阪市は 必要時と集計 | 両方購入 1(2%) 一方購入 4(9%) 他を購入 13(29%) (竹・スチールなど) 購入無 10(22%) 委託業者で 3(7%) 把握無 14(31%) *長野市は他購入 大阪市は一方購入 | 転換せず 1(2%) 転換 2(4%) 検討 9(20%) 無購入 23(51%) 把握無 10(22%) *東京都、名古屋市は把握無しとした | 転換せず 1(2%) 転換 1(2%) 検討 9(20%) 無購入 24(53%) 把握無 10(22%) |

(最終集計/2003.8.1~アンケート)

全国は大阪府下自治体に比べ、ラミン材を使用している自治体が5つ(10%)であるのに対し、大阪府下では40%以上の自治体がラミン材の箒やモップを使用している。ただ全国の自治体でも把握していない自治体がかかり多い。そのため「ラミン材転換するか」の問いに一部自治体で検討と回答有。

ボルネオ島に行く!

一原生林と先住民らの薬草

を探して③—キナバル公園とスカウ

東 悪男

[熱帯高原でも薬草が見られる]

4095mキナバル山はサバ州の誇りの山だ。キナバルの由来は、最も言われているのが、「死者を崇めるところ」。カダサン族の言葉だ。ポーリンへ何度も調査に行ったが、キナバル国立公園の周りも見ようかと、立ち寄った。本当は、K氏のカダサン族の友人宅付近で薬草調査の予定だったが、不在のため急遽変更した。2002年3月、温泉地・ポーリンの帰り。

昼頃ということもあり、高度900mほどの公園一面が霧に覆われていた。公園には、何種類もランが咲き乱れるマウンテン・ガーデンがある。その一带は、熱帯高原の植生がわかるように歩道が作られているが、私たちはそこからはずれて調査を開始した。

最初に見たのが、ラタン (Rattan) の果実。ラタンは数種類あり、食べられるものや食べられないものがあるということだ。

「あれはタハ (Tahah) というもので、果実は食べられる」とガイドのK氏が樹を指す。

続いて見たのがルムツ (Lumut)。苔の一種だ。これは咳に効くし、やけど (火傷) に効く。乾かせば火を起こす時に使えるのだそうだ。

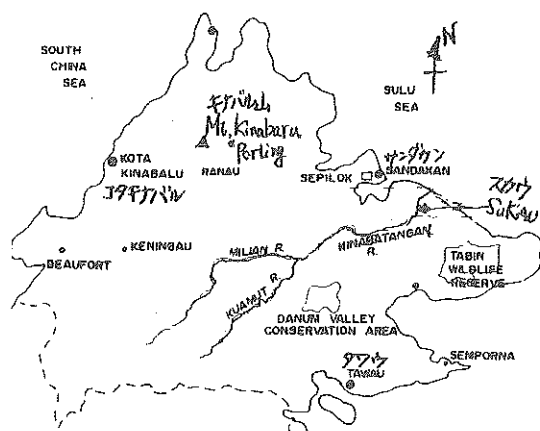
だんだん霧が深くなって、空気中の水分が多くなってきた。靴から滴が落ちる。歩く、あるく。苔むす道を。

ズルッ、ドテッ。樹の根元をしっかりと踏んでいたと思ったが、すべってしまった。

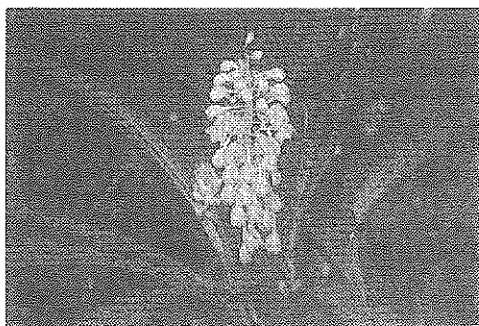
「今日はそろそろ止めよう」とK氏。調査に緊張感もないので、私も「止めよう」と答える。

今日は、約20種ほどの薬草が見られたが、キナバル公園の廻りをぐるぐる探せば、もっと薬草があるかもしれない。

収穫は高原地帯でもけっこう、薬草が見られたことだ。



▲ キナバル山頂を



▲ キナバル公園のラン



▲ ルムツ (Lumut) 咳や火傷に効く

[アブラヤシ農園に囲まれたスカウは?]

3度目のキナバタンガン川スカウへ向かう。コタキナバルから空路サンダカンへ。その付近は1955年から70年代後半にかけて、大量の森林伐採をした地だ。1988年、私が訪れたとき、サンダカン港から1日に100隻近くの木材輸出船が横行していた。しかし今、影も形もない。聞けば、1日2隻ほどだという。

スカウは、ボルネオ島だけに生息するテングザルがいる地で有名だ。それで多くの観光客が訪れる。私も一度目がそうだった。スカウへ行くにはサンダカンから観光用のバス利用か、一般のバスを2度乗り換えるかしかない。

今回、ガイドK氏と訪れ、民家に泊まる。

キナバタンガン川はボルネオで一番長い川で、下流スカウの川は特に汚れている。

昼間の水浴び(マンデイ)するにも泥水状態。汗かいたので仕方ない。水はたまらん汚れた!

水浴びを終え、船でテングザルなどが住む地へと向かう。村人より先に、K氏が何かを見つけた。

「ゾウだ。アジアゾウの足跡だ、あれを、..」

村人もうなずく。彼らに聞けば、「食べ物が無くなれば、家の周りにあるバナナを取りに来ることもある」と言う。生態系の破壊だろう。

K氏は足跡をたどる。ゆっくり探す。5分後、野生ゾウを発見。親子づれだ。ビデオで撮る。

それからゾウがいない地に船を着ける。船で行く間、周りは一面的アブラヤシ農園になっていた。そこで薬草調査だ。

あたりは単調な林で、ポーリンの二次林より貧素な森。村人に使える薬草があるか調べる。

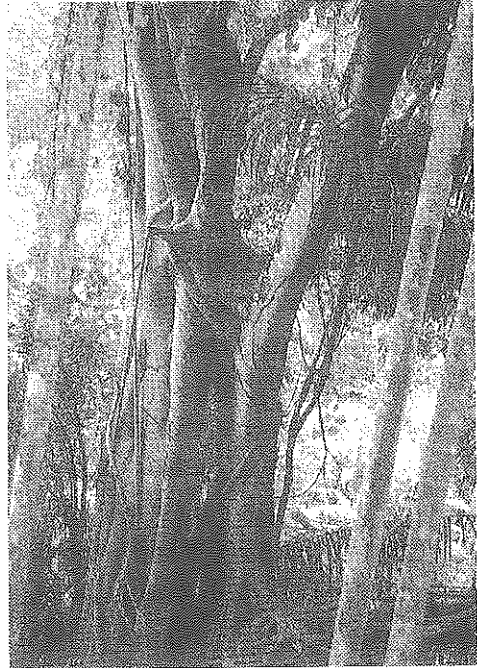
胃痛用のスブルイ・プアン (Seburui Puan) を発見。森の周りを探すが、なかなか薬草が無い。10種類ほどしかない。なぜだろうか。

「昔はここでも幾らか薬草があったと思う。木材伐採をしたり、その後アブラヤシ農園にしたりして、激減したのではないかと、K氏。

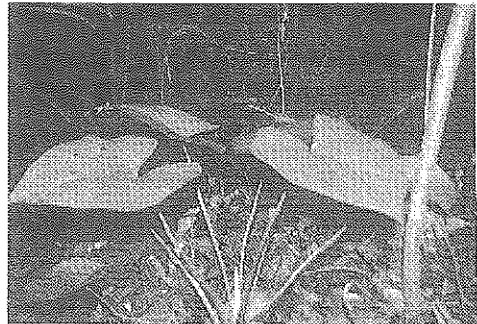
「森といえない状態なのに、ゾウやテングザルが生息しているほうがびっくりだ。プランテーションの周りの森は、その他の森林破壊の二次林より森が貧弱で薬草も少ないだろう。悲しいなあ」とK氏がぼつりと言った。

遥か遠くから、テングザルの鳴き声が聞こえる。茜色の夕日が落ち始めた。(つづく)

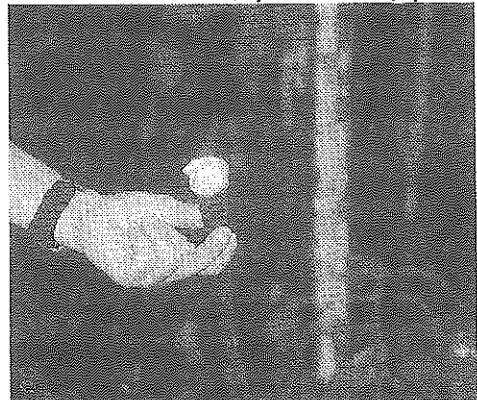
▼ムタン(Mutan)根を地面につけ、木をまきつけ殺す。しめこらし不産子丸



▼Long 小虫にのみられめよう乾燥し葉をいぶす。



▼火を起さずとなるニャティン



【次回編予告】ブナン人の奥地の村へ向かう①
そこでは今、伝統的な薬草利用と現代医療を合わせた医療施設の建設が始まっていた…。

【世界の森林ニュース】

2003年5月～8月

(by * 西岡)

【日インドネシア違法伐採対策表明・行動】

6月24日、インドネシアのメガワティ大統領、プラコサ林業大臣が来日。日本・インドネシアで『違法伐採及び違法に伐採された木材と木製品の国際貿易に取り組むための協力に関する日本政府とインドネシア政府との共同発表』が東京でなされた。この発表にNGOで申入れた。アジア森林パートナーシップは前進。

1、日本とインドネシア政府の取組み実施は、

- A) 違法に伐採された木材は、使用されるべきでないとの一致の見解。両国の違法伐採の木材・木製品の違法貿易の取組み
- B) 違法に貿易された木材・木製品及び関連違法貿易で、管理へ森林法の施行改善
- C) 違法に伐採された木材・木製品及び関連違法貿易の減少に繋がる経済機会改善
- D) 森林犯罪及び森林破壊が将来的の環境的、経済的安寧の脅威への認識向上
- E) 持続可能な森林経営に向けた適切な森林慣習の推進

2、分野の重視

- A) インドネシアから直・間接輸入の木材・木製品に適用へ合法性確認システム開発、試験及び実施
- B) 違法の木材・木製品及び関連違法貿易に取り組む努力へ市民社会の関与の奨励
- C) 両国間の木材・木製品貿易のデータ収集及び交換のシステムの共同開発
- D) 持続可能な森林経営の実施を強化するための専門家研修、人材開発

3、各国の法令に従い、予算等の範囲で実施

4、双方は適当な時期に、発表に含む事項のタイムテーブルを含む行動計画を作成。

5、実施の状況について適当な時期に再検討

6、署名日から開始され、両者による共同決定または一方が書面で他方に通知し終了されない限り継続。 2003年6月24日

プラコサ林業大臣 川口外相 他

(外務省HP、林野庁HPより)

【第34回ITTO、AFP等の強化うたう】

5月19日～21日、ITTO第34回理事会が開催。主決議は、①AFP(アジア森林パートナーシップ)や「持続可能な森林経営達成」に、NGOも含め地域協力者も協力が必要、②熱帯木材生産国で「森林認証」調査し、国際会議召集等。次回11月3日・8日(林野庁HP)

【国連で、リベリア材の密輸輸出凍結決議】

5月6日、国連で西アフリカのリベリアの木材取引停止を決め、7月7日より制裁を開始。これはダイヤモンドに変わり木材輸出が、不正な兵器売買の温床と摘発されたため。

(グリーンピースや日刊木材新聞より)

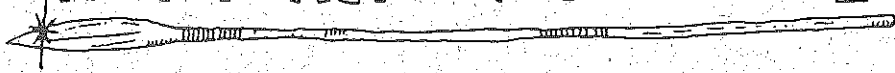
【サラワク州でブナン人、道路封鎖、逮捕?】

8月9日、マレーシアサラワク州中バラム流域で、森林破壊に抗してブナン人100名が伐採道路の封鎖を実施。警察は3回出動し、逮捕を検討(8月16日現在、逮捕無)。警察はさらに動員し、2年前来日して大阪でも講演したロング・サヤン村長、などリーダーを逮捕と言いつつ。それに対しブナン人も道路封鎖現場に集まりつつある。

逮捕されたら、緊急カンパを

(現地等からの情報)

HUTAN ACTION SCHEDULE



▷ 10.18 (土) Pm 6:30 ~ アピオ大阪 →

『熱帯林はどうなっているか? ヤラワク最新情報』
◇報告: 西岡良天(ウータン) 資料代 500円 主催: ウータン

アピオ大阪 ↓

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5
Tel 06(6941)6330 Fax 06(6941)4594
http://www.apio-osaka.or.jp

▷ 11.23 (日) 予定: Pm 6:30 ~ アピオ大阪 →

* 来日メンバーの都合で11/16(日)になるかもしれません

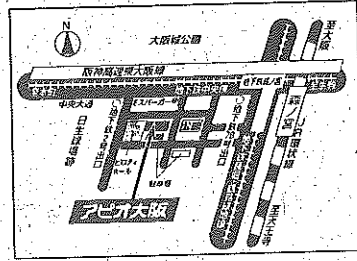
『インドネシアの違法伐採にとりくむ

NGO Telapak(テラパック) 講演会』

◇資料代: 1000円 主催: ウータン、ラミン調査会 AMネット

どらもっ 熱帯林きょうと

[問い合わせ] 072-252-0505 西岡まさ(夜間)



JR東淀川線または地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線
「森ノ宮駅」下車すぐ、日生ビル連絡通路

▷ 11.15~16 (日) 『技打族』 (総) 丹波大山(権山口集合) 主催: PHD 協会

◇参加費: 8000円程 ◇申し込み [問い合わせ] PHD 協会 Tel 078-351-4892 まで

大阪, 地下鉄

▷ 12.13 (土) Pm 1:00 ~ 5:00 エルス阪・大ホール (天満橋下車面へ5分)

『アジアの森林・日本の森林 ~ 守ろう暮らしと地球環境』


(パネラー) ● バルビアン 弁護士 (ヤラワク熱帯林を守る先住民の闘い)

● 岡崎 時春 (FOET代表・シベリアの原生林の違法伐採)

● 角谷 宏二 (社) 全木理理事・日本の森林と木材利用 など

◇参加費: 500円 ◇主催: 『自然と緑』 [問い合わせ] 06-6978-5060 (山中, 河野)





ウータン・森と生活を考える会

[OFFICE] 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-6-36
サクラビル新館308
『関西市民連合』気付
(HP) www.005.upp.so-net.ne.jp/hutan/ Tel. 06-6372-1561

【一部】300円 【年会費】4000円
【郵便振替】00930-4-3880

◎購読希望の方は郵便振替で申し込み下さるか、又事務所までご連絡下さい。
◎ウータン定例会は、毎月、第2、第4火曜日7:00pmより『関西市民連合』事務所にて行っております。